

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

② 施設・事業所情報

名称：スターチャイルド 《中山ナーサリー》	種別：児童分野 認可保育所	
代表者氏名：施設長 小林由佳	定員（利用人数）： 62 名	
所在地：〒226-0011 横浜市緑区中山3丁目4-3		
TEL：045-930-3175	ホームページ： https://www.starchild.jp/nursery/nakayama/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成27年（2015年）4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社		
職員数	常勤職員：15名	非常勤職員：9名
専門職員	施設長	1人
	保育士	18人
	栄養士	1人
	調理員	2人
	保育士	18人
	事務・保育補助	各1人
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	6	園庭、多目的トイレ、乳児・幼児トイレ、事務室、厨房、医務室、職員休憩室、など

③理念・基本方針

【保育理念】スターチャイルドは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。

【保育目標・方針】

1. よく考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します）
2. 個性豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）
3. やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

④施設・事業所の特徴的な取組

・緑を基調とした園舎は二階建てとなっており、見たもの、聞いたもの、味わったもの、匂ったもの、触れたもの、五感を通していろいろな体験、発見していく場「森」をイメージした保育空間の中で子ども達は過ごしています。

1階の0・1歳児クラスはオレンジ、2階の2歳児クラスはイエロー、同じ3～5歳児クラスはブルーをイメージカラーとし、床、天井、健具は木の自然色にて構成されています。

・子どもの『自発的な行動』を、実りある成長に結びつけるよう、刺激の与え方や、保育環境の構築に工夫をしています。また、養護と教育を一体的に展開していくこと、子どもたちが安心して元気な毎日を過ごす 場を提供していくことを目指し、肯定形による前向きな言葉かけ、豊かな感情表現とスキンシップ・コミュニケーションを大切にしています。

・英語教室は、外国人講師と他国の言葉や文化に触れ、体操教室は身体能力を高める

活動を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月2日（契約日） ～ 2023年1月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特長】

◆子どもの気持ちに添った保育により子どもたちは、自分で考え、自己肯定感を持って行動しています

保育士は、子どもの気持ちを汲み取るよう努めています。乳児クラスは、絶えず話しかけ、子どもと応答的に関わり、信頼関係を築いています。子どもの状況や細かな変化を見逃さず、言いたそうな時は言えるまで待つようにしています。子どもの行動を見て、無理なくできるような待つ時間を考慮に入れています。

また、子どもの対応が集団では難しく個別対応が必要な時は、オープンスペースで過ごしている強みを活かし、職員間で連携を取り合い対応しています。生活習慣の習得では、出来ないことをやろうとする気持ちを尊重して見守り、やろうとしたときにすぐできる環境を整えるよう工夫しています。幼児クラスは、年齢に応じて子どもの状況を把握し、何に興味を示すか、選んで遊べる環境を整えています。子どもが発言できる機会を設け、散歩先や集団遊びを選ぶなど話し合っています。保育士は、万遍なく目を配り、中には思うように発言できない子どももいますが、保育士が言葉のヒントを出すなどして、発言できた喜びと自信につながるよう援助しています。また、幼児クラスは、合同保育と一緒に協同して一つの物を作るなどして、年上の子どもへの憧れや年下の子どもへのいたわりなど、子ども自身が将来の見通しを持つ取組となっています。行事などは子どもの発言を基に進め、施設長は取組む過程が大切と、保護者には、はじめの出来ない時から出来るようになるまでの状況をその都度伝え、子どもの育ちを知らせています。

◆情報を共有して、子どもたちを把握するよう努めています

施設長は、「子どもが楽しんでもらいたい。保育士が楽しく保育をして欲しい」と考えていて、そのためにゆとりを持って保育が出来る環境を作るように心がけています。職員は、午睡時などを利用して進め方などうまくいかなかった事を話し合っています。また、会議やミーティングで情報を共有し、子どもの状況を把握して、一人ひとりの状況に応じた丁寧な関わりをしています。発達に応じた育ちの積み重ねが子どもの成長に繋がるよう共通認識を持って援助しています。

◆保育の質の向上に取り組んでいます

園では、職員の意向と施設長の指示のもと、ひとり年3回の法人研修と年1項目のキャリアアップ研修の受講を目標に、参加を勧めています。また、オンライン研修は、保育で困っている時や興味のある分野など自分で選んで受講できています。更に、毎月職員が持ち回りで園内研修を実施しています。おすすめの絵本、より良い言葉かけ、アートセラピー、子どもの性教育、嘔吐処理など、テーマや資料、進め方は各自に任せ、保育士が講師になることで学びが身に付くなど、保育の質の向上に様々な取組を実施しています。

【今後期待される点】

◆地域交流を広げて行くことが期待されます

園は、地域交流の基本的な考え方について、中長期計画や事業計画、全体的な計画で明確にしています。コロナ禍であり、現在は緑区の主催する「みどりん体操」や中山小学校エリアの年長児交流で「しりとりカード作り」に参加するなどしています。一方、地域住民との交流としては、散歩時の挨拶やスーパーでの買い物体験に止まっており、今後は、園の方から交流を広げていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価事業の再評価を受けるにあたって、評価項目を職員間で話し合い、検討、見直し、課題の改善に取り組みました。この評価を受審することで、それぞれの認識のずれを無くし共通理解へとつなげていくことが出来ました。このような機会がなければ埋もれてしまったかもしれない事柄等、話し合いを通じて共有することが出来ましたことは、今後の保育の中で活かしてまいります。

保護者の皆様には、スターチャイルドの保育、運営にご理解いただき、温かく見守って頂いている事、感謝申し上げます。また、お忙しい中アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。皆様のそれぞれの思いに答えられるよう、子ども達の最善の利益を追い求めながら、努めてまいります。

これからもスターチャイルドの保育理念『子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します』を胸にさらなる向上を目指します。

末筆になりましたが、今回の受審にあたり、関わったすべての方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり